

令和3年度教育者表彰（文部科学大臣表彰）被表彰者の功績概要

まさき 眞崎 としあき 俊明 （59歳） 三重県立伊勢高等学校長

- ・公立高等学校教諭として英語科教育の推進に尽力した。
- ・三重県教育委員会事務局主査、主幹、副課長、班長を務め、本県の教育活動の充実のみならず、本県教育行政の発展に尽力した。
- ・公立特別支援学校長として、度会特別支援学校では、学部間の連携を密にすることで「やる気」、「元気」がみなぎる組織風土を醸成し、働きがいのある学校づくりに取り組んだ。また、町内に、小学校、中学校、高等学校が1校ずつ所在する度会町において、各校種との交流学习を推進するなど、地域の学校と協働して支援体制を築き、地域全体を視野に入れた特別支援教育の活性化に尽力した。
- ・公立高等学校長として、伊勢高等学校では、大学入試改革など教育環境の変化に対応し個々の生徒の進路希望に応じることができる教育課程を編成するとともに、学習指導の改善に取り組んだ。また、全教員が他の教員の授業見学を行うなど、教員同士が学び合う組織体制を構築し、学校の総合的な教育力を高めた。さらに、SSH指定校として、SSHの取組をカリキュラム・マネジメントの柱に据え、科学的リテラシーを持ち、国際社会に貢献する人材の育成に努めた。
- ・三重県立学校長会長、副会長、会計、監事として同会の運営に尽力した。

令和3年度教育者表彰（文部科学大臣表彰）被表彰者の功績概要

たなか
田中

ひろし
寛

（60） 津市立藤水小学校長

- ・公立中学校教諭として、国語科教育の推進に尽力した。
- ・津市教育委員会事務局指導主事として、学校教育・教育行政の活性化に貢献した。特に、平成18年の市町村合併の前後においては、一体感のある津市の教育のために教育内容の充実、教育研究の推進等、その力を遺憾なく発揮した。
- ・津市教育委員会事務局管理主事・主幹として、各校が抱える課題を的確に把握し、適切な人材配置や学校運営への指導を行うなど、教職員の人事及び服務監督に尽力した。
- ・公立中学校教頭、公立学校長として、これまでの経験を生かし、教職員の指導育成を図るとともに、地域社会との結びつきを大切にした学校運営に努めた。特に、生徒指導、学力向上等、学校が抱える問題を学校経営の中心に据え、精力的に学校運営を行い、保幼小の連携や学童保育との積極的連携をした。
- ・津市教育委員会事務局教育推進担当参事、学校教育・人権教育担当理事として、子どもの実態の把握や教職員、地域住民の声を大切にし、教育条件の整備、諸施策の遂行に積極的に取り組み、教育行政の中心となって尽力した。特に、「津市の教育、学術及び文化の振興に関する総合的な施策の大綱」の策定後、教員が子どもたちと向き合う時間の確保や地域全体で子どもたちを支援する教育環境の整備に向けて力を発揮した。
- ・令和3年度三重県小中学校長会長として、小中学校が持つ教育課題を明らかにし、関係機関と連携しながら課題解決に尽力している。

令和3年度教育者表彰（文部科学大臣表彰）被表彰者の功績概要

なかがわ かつみ
中川 克巳 （60） 津市立東橋内中学校長

- ・公立中学校教諭として、理科教育の推進に尽力した。また、校内に学校支援地域本部を立ち上げ、地域の力を活用し、外部講師の招聘や、夜間学習の創設などに取り組んだ。
- ・津市教育委員会事務局指導主事として、市町村合併を控えた同市における教育改革を大命題に、生徒指導、部活動、キャリア教育等の分野において力を発揮した。
- ・公立中学校教頭として、地域とのつながりを深め、地域で子どもたちを育てていくとの考え方から、地域人材を生かした夜間学習を設立した。
- ・津市教育委員会事務局教育研究支援課長として、津市の児童生徒の学習状況を事細かに把握し、「津市版授業改善マニュアル」を作成した。また、部活動においては、原点に立ち返った活動を求め、「津市立中学校部活動指針」の作成に着手した。
- ・公立中学校長として、外国につながる生徒が全校の半数近くにのぼる実状を踏まえ、日本社会で生き抜く力をつけることを目標に、日本語指導を充実させるだけでなく、生徒に英語スピーチコンテストや各種作文コンクール等に挑戦させ、成功体験を積ませることで自尊感情の醸成を図った。
- ・令和3年度三重県小中学校長会副会長として、豊富な経験と幅広い見識を生かして、学力向上、働き方改革など、様々な課題の解決に向けて取り組んでいる。